

# 高士区 地域協議会 だより

第 56 号

発行：高士区地域協議会

令和 7 年 12 月 25 日発行

## 「高士区地域協議会」アンケートの結果（抜粋）をお知らせします

前号では、「人口減少」「コミュニティ」について、  
今号では「コミュニティ（子ども会）」「子育て」についてお知らせします。

なお、全ての分析結果は、市ホームページに掲載していますので、是非そちらもご覧ください。



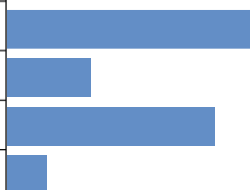
▲地域協議会の開催状況及び  
アンケート結果掲載ページ

## 2 コミュニティ (3)子ども会について

問1 子ども会（またはそれに準ずる会）はありますか。（択一）

(n=14)

選択肢		回答数	割合
1	ある（町内単独）	6	42.9%
2	ある（他町内と合同で組織している）	2	14.3%
3	ない	5	35.7%
無回答		1	7.1%
計		14	100.0%



問1-2 会員（子ども）のいる世帯数と会員数を教えてください。

※1 小学1年生から6年生までの会員

※2 他町内と合同で組織している場合は、ご自身の町内のみの数をご回答ください。



(n=9)

町内会	稲谷	下曽根	高和町	元屋敷	高津	飯田	森田	十二ノ木	無回答	平均
世帯数	5	3	3	1	4	6	2	1	—	3世帯
会員数	6	5	5	3	7	9	3	1	—	5人

※元屋敷（2025年から中学生含む）

**〔分析〕** 「ある」への回答は57.2%（単独42.9%、合同14.3%）、「ない」は35.7%でした。また、「ある」と回答した町内会では、世帯数は1～6世帯、会員数は1～9人と少人数で、平均は3世帯・5人程度で構成され、全体的に規模にばらつきが見られました。

### 3 子育て

【目的】時代とともに生活様式や価値観が多様化する中で、核家族化、仕事と子育ての両立や学校環境の変化に伴う保護者の負担などの、実態を地域で共有し、地域で子育てについて考えたいため、伺います。

問1 高士地区の人々が子どもと接する機会にはどのようなものがありますか。（複数可）

(n=14)

選択肢		回答数	割合	
1	ふるさと高士まつり	11	78.6%	
2	納涼会	2	14.3%	
3	登下校時の見守り活動	9	64.3%	
4	高士地区体育大会	11	78.6%	
5	上越市ファミリー綱引き大会	0	0.0%	
6	団子まき（餅まき）	1	7.1%	
7	高士ルミネ	7	50.0%	
8	実施していない	0	0.0%	
9	その他	0	0.0%	
無回答		1	7.1%	
計		42	300%	

【分析】 子どもと接する機会は「ふるさと高士まつり」、「高士地区体育大会」が各78.6%、「高士ルミネ」が50.0%と世代間交流の場がある行事が多い傾向にあります。一方で、日常的な「登下校中の見守り活動」もその一つとなっていることが分かりました。

### 地域協議会だよりクイズ

問1 高士地区の人口増減率（1970年～2020年）はどれでしょうか？

- ① △15%    ② △30%    ③ △45%

問2 高士地区の高齢化率（2020年時点）はどれでしょうか？

- ① 31%    ② 41%    ③ 51%

問3 高士地区の子ども（0～18歳）の人口（2015年～2020年）はどれくらい減ったのでしょうか？

- ① 17人    ② 37人    ③ 57人

答えは  
次号（1/25発行号）へ  
掲載するニャ！



お問い合わせ先

上越市地域政策課 中部まちづくりセンター（上越市木田 1-1-3 市役所第二庁舎 2階）

TEL 025-526-1690 / FAX 025-520-5852 / E-mail chubu-machi@city.joetsu.lg.jp